

【6月の保育】

年少うさぎ組

登園後、鞄や帽子をロッカーに掛け、手洗いをして、自分たちで身支度を進めようとしています。困ったことがあると教師に「手伝ってほしい」ことを言葉や態度で伝える姿も見られます。身支度を終えると、ままごと、ミニカー、色塗り、お面作りなど、自分の好きな遊びを見付けて遊び始めます。広告を丸めた棒に紙テープをつけて、クルクル回していた子が「魚釣りみたい」と言い、釣る真似をしたので、早速魚を作った魚釣りごっこをしました。子どもたちが“やってみたい”と感じたことがすぐできるように、これからも援助をしていきます。

これから梅雨に入ります。雨が降ってもミニホールを利用して、学級で体を動かす楽しさを感じられるようにします。後半からは水遊び、プール遊びが始まります。水の感触や心地よさを感じながら、水に慣れ親しんで楽しめるようにしていきます。



年中くま組

空き箱や色画用紙などを使って、自分なりに作ったりかいたりすることを楽しむ姿が見られます。気に入ったものを繰り返したくさん作る子、友達と同じものを持つことが嬉しい子、それぞれに、自分で作る嬉しさや作ったもので遊ぶ楽しさを感じています。「何しているの?」「やりたいな!」と教師や友達のしていることに興味をもって、自分から関わろうとする姿が見られるようになりました。

これから雨の日が多くなります。ホールや廊下等の環境を活用し、巧技台やマット、ボールを使って体を動かしたり、学級のみんなでゲームをしたりして楽しむ時間も大事にします。

後半からは、プール遊びが始まります。水と触れ合う心地よさを味わえるようにしていきます。併せて、着替えの仕方や自分の体を守ることについての指導も進めていきます。



年長ぞう組

新しく使えるようになった遊具（キングブロックや大型積み木など）を使って遊ぶことが嬉しいぞう組。「それいいね!」「どうやって作ったの?」と友達の遊びから取り入れたり、友達と一緒に乗り物をつくったりする姿もあります。助け鬼やリレーなどの学級全体での活動でも、“友達と一緒にする楽しさ”や“友達とのつながり”を感じられるようにしています。引き続き、「自分の思いを言葉に表すこと」「友達に伝えようとすること」「相手の話を聞こうとすること」を大切にし、幼児同士で気持ちを伝え合う場面を支えていきます。

6月は『わくわくランド』の実施を計画しています。遠足での共通体験や日々の遊びから、友達と一緒に“わくわくするような遊び”を考えます。自分たちでお店を作り、友達やうさぎ組さん、くま組さんを招き、作ったもので遊んだり、いろいろな人と関わったりする楽しさを味わえるようにします。

6月後半には水遊び、プール遊びも始まります。水と親しみ、解放感を味わえるようにします。